

科目名		呼吸器内科学実習	
科目責任者	矢 寺 和 博	(呼吸器内科学 教授)	
担当者	川 波 敏 則	(呼吸器内科学 准教授)	
担当者	山 崎 啓	(呼吸器内科学 講師)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>指導教員と協議し、呼吸器感染症、呼吸器アレルギー疾患、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、原発性肺癌、職業性肺疾患等から、最先端かつ重要なテーマを選択する。テーマを選択した後、実現可能性について定期的に討議し、仮説を立案し、検証方法を具体的な研究手技、手法について検討・立案し、実行する。得られた結果を解釈し、仮説の立証、または改訂を適宜行う。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各呼吸器疾患の治療標的部位を論じることができる。 2) 各疾患の病態、治療方法、目的、治療のアウトカムについて説明できる。 3) 胸部X線写真、CTを用いて、診断、重症度分類、治療計画、予後の予測、評価ができる。 4) 臨床検体を用いて、診断、重症度分類、治療計画、予後の予測、評価ができる。 5) 結果を解釈し考察することができる。 6) 結果の問題点、課題を指摘する事ができる。 7) 結果から病態生理、病因を考察することができる。 8) 結果を解釈し、問題点を明らかにし、研究計画を修正することができる。 9) 結果を統計学的手法(統計ソフト)を用いて統計学的に処理し解釈できる。 10) 結果をリサーチカンファレンスで論理的に発表し、議論することができる。 11) 国内学会、国際学会で発表し、討論できる。 12) 研究資金について理解し、適正に使用することができる。 13) 研究計画書、倫理委員会の書類を作成することができる。 			
● 評価方法	検討会でのプレゼンテーション内容 40%、討議への参加度・積極性 30%、課題レポート 20%で総合的に評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じて紹介する。		